



環境活動レポート



太陽光発電と屋上緑化

(対象期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年6月15日

(改訂：平成28年11月29日)

認定こども園 高津幼稚園

(学校法人有馬学園)

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

学校法人有馬学園 認定こども園 高津幼稚園

園長 有馬 淳

(2) 所在地

千葉県八千代市高津 1 5 1 6

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 副園長 宮本 薫

担当者 EA21事務局 有馬 富穂 TEL 047-405-0565

(4) 沿革 昭和42年4月 開園

(5) 事業の規模

園児 約330人（ひよこ組1クラス、年少3クラス、年中3クラス、年長3クラス）

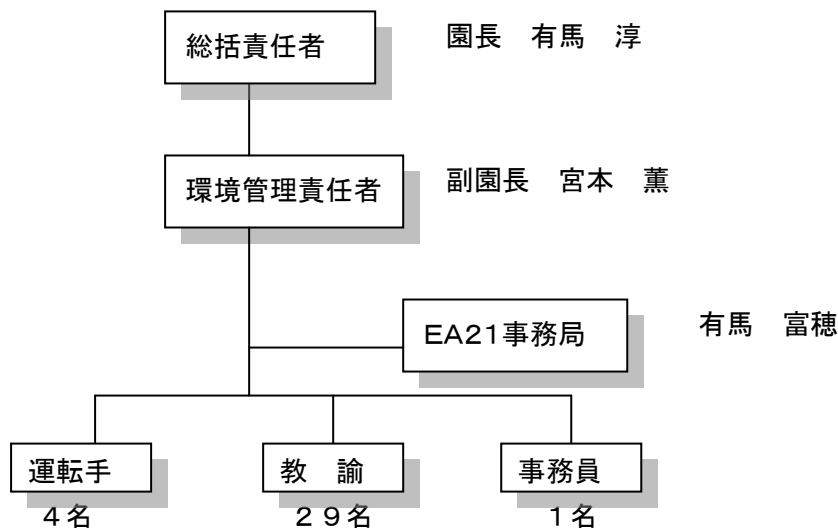
※園児はEA21取組み対象外

職員 37人

敷地面積 1862 m²

工場延べ床面積 1218 m²

(6) 環境経営組織図



2. 対象範囲

認証・登録番号：0004403

認証・登録年月日：2009/11/26

認証・登録事業者名：学校法人有馬学園 たかつ幼稚園

対象事業所名：たかつ幼稚園

所在地：千葉県八千代市高津 1 5 1 6

事業活動内容：私立幼稚園経営

3. 環境方針

環境方針

21世紀に入り、地球温暖化や少子高齢化の進行で、先行き持続性が危惧されています。温暖化対策として、当園は園舎屋上に太陽光発電と屋上緑化のエコガーデンを導入しました。この施設を環境学習の場として、園児とその保護者に環境保全の大切さを啓発し、また幼児教育と環境経営のモデルになるべくエコアクション21に取組みます。

1. 当園の教育活動において、環境保全への取組みを重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全職員一丸となって環境との共生・調和に配慮した環境保全活動に取組み、環境負荷を継続的に削減していきます。
2. 環境保全活動において、環境関連法規とその他要求事項を遵守します。
3. 重点活動テーマを下記の通り設定し、環境改善への効果的な取組みをします。
 - ①園舎で使用する電気を節電するために、太陽光発電を活かしたきめの細かい消灯、冷暖房管理などに努める。
 - ②送迎バスの燃料使用量を削減するために、アイドリングストップなどのエコドライブや最短距離追求などに努める。
 - ③園舎から発生するごみは分別の徹底化、コピー紙の節約などにより削減する。
 - ④園舎で使用する水の節水に努める。
 - ⑤園児に環境教育も行う。
 - ⑥グリーン購入に努める。
4. 環境方針について、職員教育および意識啓発の掲示物などにより、全職員の理解を深めるとともに、活動意欲の向上を図ります。

—この環境方針は、社内外に公表します—

平成21年3月 1日 制定
平成23年4月15日 改定
学校法人有馬学園
認定こども園 高津幼稚園
園長 有馬 淳

4. 環境目標

2013年度を基準にした中期目標（5頁）による2015年度の目標

（年度 4月～3月）

		2013年度	2015年度	目標設定
		実績	目標	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	70,963	70,253	1%削減
①二酸化炭素排出量 （電力）の削減	kg-CO ₂ ※ kWh	32,451 61,229	32,126 60,617	1%削減

②二酸化炭素排出量 (燃料)の削減	kg-CO ₂	38,512	38,127	1%削減
	ガソリン ℓ	10,202	10,100	
	軽油 ℓ	5,733	5,676	
③一般廃棄物の削減	総量 (kg)	3,270	3,237	1%削減
④総排水の削減	総量 (m ³)	2,099	2,078	1%削減
⑤環境教育				
	資源回収量 (kg)	5,150	5,202	1%増加
⑥グリーン購入の推進	比率 %	54	58	4%増加

※電力のCO₂排出係数は0.530 kg-CO₂/kWhを使用

5. 主要な環境活動計画の内容

①二酸化炭素排出量（電力）の削減

太陽光発電を活かしたきめの細かい節電
 不要照明の消灯、クールビズ・ウォームビズ運動、
 冷房28℃、暖房20℃
 デマンドモニター(ERIA)によるデマンド管理の強化

②二酸化炭素排出量（燃料）の削減

特に送迎バス（4台）の管理強化
 アイドリングストップ、急加速・急停車の防止、燃費のよい車の更新（更新時）
 送迎ルートの最短距離追求、携帯電話など連絡網の有効活用

③一般廃棄物の削減

ごみ分別の強化による可燃ごみの削減、コピー用紙の削減対策（両面コピー、パソコン利用によるペーパーレス化、配布資料の削減など）、資源集団回収の活性化

④総排水の削減

平成19年4月に地下水が使えるようになり、夏季のプール用水やトイレ用水のコスト節減ができた。節水意識の向上、節水弁取付、雨水利用の検討

⑤環境教育

玄関ホールの環境アニメ放映、児童や保護者への啓発、親子竹林体験などの環境学習や環境講演など。保護者の環境意識啓発も兼ね資源回収活動を行う。

⑥グリーン購入

エコマーク付き商品など環境に配慮している製品の購入を推進する。

6. 環境目標の実績

		2015年度	2015年度	実績/目標
		目標	実績	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	70,253	71,250	101%
①二酸化炭素排出量 (電力)の削減	kg-CO ₂	32,126	34,800	108%
	kWh	60,617	65,660	

②二酸化炭素排出量 (燃料)の削減	kg-CO ₂	38,127	36,450	96%
	ガソリン ℓ	10,100	10,107	
	軽油 ℓ	5,676	5,021	
③一般廃棄物の削減	総量 (kg)	3,237	4,560	141%
④総排水の削減	総量 (m ³)	2,078	2,868	138%
⑤環境教育	自然体験 件	3	3	100%
	資源回収量 (kg)	5,202	4,770	92%
⑥グリーン購入の推進	比率 %	58	57	98%

7. 環境活動計画の取組結果とその評価

2015年度の目標に対する実績を評価する。

取り組み計画	達成状況	○× 判定	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素総排出量	目標：70,253 kg-CO ₂ 実績：71,250 kg-CO ₂ 対比：101%	○	燃料の削減によりまあまあ目標に近づけた。
①二酸化炭素排出量(電力)の削減	目標：32,126 kg-CO ₂ 実績：34,800 kg-CO ₂ 対比：108%	×	デマンドモニターにより節電に気を付けているが、月により増減がある。減の月を増やすよう努める。
②二酸化炭素排出量(燃料)の削減	目標：38,127 kg-CO ₂ 実績：36,450 kg-CO ₂ 対比：96%	○	園バス巡回ルートの最短距離追求の成果である。今後ともルート短縮とエコドライブに努める。
③一般廃棄物の削減	目標：3,237kg 実績：4,560kg 対比：141%	×	分別によるごみ削減の強化に努める。
④総排水の削減	目標：2,078 m ³ 実績：2,868 m ³ 対比：138%	×	節水意識の向上に努める。
⑤環境教育 資源回収量	環境アニメ放映 目標：5,202 kg 実績：4,770 kg 対比：92%	○	竹林体験、自然体験教室2回の計3回実施 保護者の協力による資源物回収量は減少した。 廃食用油の集団回収 646ℓ
⑥グリーン購入の推進	目標：58% 実績：57%	○	達成
地域社会への共生 ・毎朝の園庭及び園周辺の清掃	達成	◎	計画以上に清掃を徹底した。引き続き実施する。

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

□中期目標

	2013年度（基準年）	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素総排出量	70,963 kg-CO ₂	70,608 (0.5%削減)	70,253 (1%削減)	69,898 (1.5%削減)	69,544 (2%削減)
①二酸化炭素排出量（電力）の削減	32,451 kg-CO ₂	32,289 (0.5%削減)	32,126 (1%削減)	31,964 (1.5%削減)	31,802 (2%削減)
②二酸化炭素排出量（燃料）の削減	38,512 kg-CO ₂	38,319 (0.5%削減)	38,127 (1%削減)	37,934 (1.5%削減)	37,742 (2%削減)
③一般廃棄物の削減	3,270 kg	3,254 (0.5%削減)	3,237 (1%削減)	3,221 (1.5%削減)	3,205 (2%削減)
④総排水の削減	2,099 m ³	2,089 (0.5%削減)	2,078 (1%削減)	2,068 (1.5%削減)	2,057 (2%削減)
⑤環境教育 資源回収量	5,150 kg	5,176 (0.5%増加)	5,202 (1%増加)	5,227 (1.5%増加)	5,253 (2%増加)
⑥グリーン購入の 推進	54%	56%	58%	60%	62%

<次年度の取組内容>

次年度の取組内容は5章の内容と同じとする。

中期的課題

園バスの低燃費化の検討、バイオディーゼル油使用の検討

雨水利用の検討

E A 2 1 取組み普及活動

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

□違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、創業以来ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

園児数が定員になった2013年度実績値を基準にした新たな中期目標にチャレンジした。

二酸化炭素排出量については、園バス巡回ルート of 最短距離を追求した結果、燃料が削減できCO₂総排出量の目標をほぼ達成できた。

新たな取組として、市環境政策室の要請によりこどもエコクラブに登録し、活動をはじめた。

EA21取組のメリットとして、信用向上による園児の定員確保ができています。

また、緊急事態想定訓練により、園児の行動が迅速となり、保護者から高い評価を得ている。

緊急事態想定訓練は月1回実施している。また、保護者への引き渡し訓練は年1回の実施。



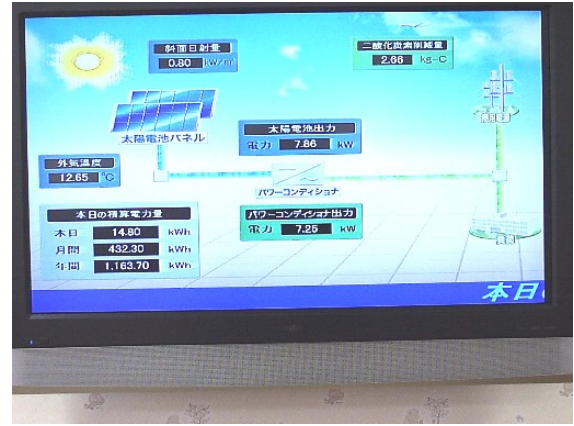
地震発生時、先ず机の下へ避難



揺れが少なくなったら、園庭へ移動



災害発生時の保護者への引き渡し訓練



太陽光発電 10KW

発電量モニターと環境教育アニメ放映

太陽光発電の平成27年度の実績は

総発電量 11,448kWh 全使用量の約15%

CO₂削減量 6,067kg

また、玄関ホールの太陽光発電モニターではアニメ動画による環境教育も行っており、園児や保護者に効果的な環境学習ができたと思われる。

電力の“見える化”と“理解化”で上手な節電をはじめましょう

現在が見える SMART METER ERIA Electricity Reader Indicate Automatically

省エネ行動のタイミングが理解できる
エコの裏と裏と光でお知らせ

グラフで省エネ設定値がわかる
理解する
過去のデータを後方より詳しく分析、検証、理解する

ムダに注意
ムダに注意
営業時間外 営業時間 営業時間外

GIFT123
お支払いの残りがわかる

省エネのコツ「有線の変圧点」
アフターフォロー-GIFT123



デマンドモニターによる節電

廃食油の集団回収

集団回収のモデルとなり八千代市をリードしている。



自然体験教室

親子竹林体験活動

ダンゴ虫レース、種の不思議の2回

毎回、約100名の参加、八千代市米本城址跡にて